

1. 町内会防災訓練の実施について

9月3日(日)午前7時30分に防災無線により、訓練の警報が発令されます

- ① 各個人・各家庭での安全確認を行います
- ② 安全である旨の表示を行うため、玄関等にタオル掛けを行います
- ③ 安全を確認しながら、一時避難場所(八幡公園、大清水公園、県営住宅集会所、きずな会館)に避難します

2. 応急手当について

私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるかわかりません。そんなときに、家庭や職場でできる手当のことを「応急手当」といいます。病院に行くまでに応急手当をすることで、けがや病気の悪化を防ぐことができます。

一次救命処置(心肺蘇生とAED)

「一次救命処置(心肺蘇生とAED)」とは、心配蘇生とAEDの使用によって、止まってしまった心臓と呼吸の動きを助ける方法です。

(1) 心肺蘇生とは

心肺蘇生とは、胸を強く圧迫する「胸骨圧迫」と、口から肺に息を吹き込む「人工呼吸」によって止まってしまった心臓と呼吸を補い、助ける方法です。

(2) AEDとは

心臓が突然止まるのは、心臓がブルブルと細かくふるえる「心室細動」が原因となることが少なくありません。この場合できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓のふるえを取り除くことがとても重要です。AEDは、この電気ショックを行うための機器です。

心肺蘇生の手順

- ① 周囲の安全を確認する
- ② 傷病者の反応を確認する
- ③ 周囲の協力者を募る
- ④ 119番通報してAEDを手配する
- ⑤ 普段通りの呼吸があるかの確認を行う
- ⑥ 胸骨圧迫を行う
- ⑦ 人工呼吸を行う
- ⑧ AEDの使用
- ⑨ AEDの使用と心肺蘇生の継続



「そのあなた、119番通報をお願いします」



呼吸の確認をします



胸骨圧迫により心臓や脳に血液を送ります
胸の左右真ん中にある胸骨の下半分を、重ねた両手で強く、早く、絶えまなく圧迫します



気道を確保したまま、額に当てた手の親指と人差し指で傷病者の鼻をつまみ、息を吹き込みます



AEDの操作
 ・電源を入れる
 ・電極パッドを貼る
 ・心電図の解析
 ・電気ショック